

第15回 奈良県眼科万葉フォーラム

日本眼科学会専門医認定事業 No.23110

謹啓

時下、先生におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

下記の通り「第15回 奈良県眼科万葉フォーラム」を開催させていただきます。

ご多用とは存じますが、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



謹白

奈良県立医科大学 眼科 緒方奈保子

日時

2018年 **5月19日(土)** 16:00~18:00

会場

THE KASHIHARA (旧 **橿原ロイヤルホテル**) 2F 瑞穂の間
〒634-0063 奈良県橿原市久米町652-2 TEL:0744-28-6636
(4月1日よりホテル名が変更となりました)

単位

日本眼科学会専門医制度認定事業 2単位

会費

1000円

* 眼科医の先生には当日会場費として徴収させていただきます。
* 学生、コメディカルの皆様は無料です。

学術講演 16:00~17:00

座長

上田 哲生 先生 奈良県立医科大学 眼科学 准教授

演題

『角膜潰瘍の病態について』

杉岡 孝二 先生 近畿大学医学部奈良病院 眼科 准教授

演題

『緑内障における視神経乳頭の構造と血流』

岡本 全弘 先生 奈良県立医科大学 眼科学 講師

特別講演 17:00~18:00

座長

緒方 奈保子 先生 奈良県立医科大学 眼科学 教授

演題

『OCT緑内障診断アップデート
~GONもどきを正しく見極めよう~』

溝上 志朗 先生 愛媛大学 視機能再生学講座 准教授

* 講演会終了後、情報交換の場をご用意しております。

共催： 奈良県立医科大学 / ファイザー株式会社



「OCT緑内障診断アップデート ～GONもどきを正しく見極めよう～」

近年、飛躍的に進歩した光干渉断層計(OCT)は、緑内障性視神経症(GON)の網膜内層に生じる微細な形態変化を捕捉することで、前視野障害期の診断を可能とした。

さらに、OCTは、視野障害期のGONにおいても、これまで、視神経乳頭形状の評価が難しかった小乳頭や近視乳頭症例の診断にも大きく貢献する。

しかし、その一方で、普段まったく意識せずにGONと診断している(してきた)症例のなかに、実にひっそりと、GONに似て非なる“GONもどき”が混在している事実をご存じだろうか。

今回、演者が経験した“GONもどき”を供覧しつつ、騙されないための方策を考えてみたい。

【溝上志朗先生 ご略歴】

1995年 愛媛大学医学部医学科 卒業

1996年 大阪厚生年金病院 医員

1998年 宇和島市立吉田病院 眼科 医長

2001年 南松山病院 医長

2005年 愛媛大学大学院医学系研究科修了

2006年 愛媛大学医学部眼科 特任講師

2009年 愛媛大学医学部眼科 講師

2012年 愛媛大学大学院 医学系研究科 視機能再生学講座 准教授

現在に至る

会場 THE KASHIHARA (旧 榎原ロイヤルホテル) のご案内

当日 会場ホテル駐車場 の他 榎原神宮前駅東駐車場(会場対面)も 無料でご利用いただけます。ご利用の際は受付にお申し付け下さい。

